

青少年の非行・被害防止県民運動 7/1～8/31

毎年7月、8月は、岩手県の「青少年の非行・被害防止県民運動」期間です。

「青少年は地域社会から育む」との観点で、家庭、地域、職場等が一体となって青少年の非行・被害防止に取り組んでいきましょう。

当センターでは、街頭補導活動時に通年で「愛の一声運動」を実施しており、青少年の非行防止、犯罪被害防止に力を入れていきます。



重点課題

- 1 インターネット利用等に係る子供の性被害等の防止
- 2 有害環境への適切な対応
- 3 薬物乱用対策の推進
- 4 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
- 5 いじめ・暴力行為等の問題行動への対応

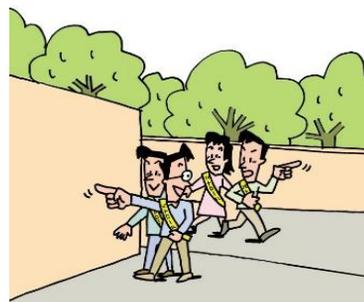
令和5年度北上市少年センター補導活動開始

令和5年度の補導活動が新体制でスタートしました。

6月8日(木)に行われた「北上市少年センター少年補導員委嘱状交付式」で、新たに80名が北上市長から少年補導員として委嘱されました。

市内の少年非行件数は大幅に減少したものの、闇バイトをはじめとするインターネット絡みの犯罪や、県内いたるところで発生する声掛け事案等、子どもたちを取り巻く環境はむしろ厳しくなっています。

各補導員は、「地域の子どもたちは自分たちが守る」との決意の下、街頭補導活動を開始しました。



ひとりで悩まないで 相談してみませんか

学校で「いじめ」にあっている。
不登校になっている。
学校が面白くない。
親とケンカしてしまった。
家にいても面白くない。

など、いろいろ悩んでいるあなた

相談してみましょ！まずはお電話を！



北上市少年センター悩み相談室

0197(72)8302

相談時間 月～金 9:00～17:00

場所 北上市大通り一丁目3番1号
おでんせプラザぐろーぶ3階
北上市少年センター

少年の非行防止は家庭から

岩手県警察本部から、令和4年中における北上警察署管内の少年犯罪の検挙状況が発表されました。

検挙数は9件と少ないながらも、他人の家屋に侵入したり、詐欺をはたらく等、重大な事件で検挙された少年もいます。

また、喫煙や深夜徘徊で補導された少年が17人に上っています。

人間関係の基本は家庭からです。未来の日本を背負っていく子供たちを非行に走らせないよう明るく健全な家庭を作りましょう。



子どもからのSOSを見逃すな！

子どものちょっとした行動の変化はSOSのサイン。早期のケアに努めましょう。



- ・ 買い与えていない物を持っている
- ・ 帰宅時間が遅くなった
- ・ ふさぎ込み、悩んでいる様子だ
- ・ 以前と付き合う友人が変わった
- ・ 無断外出、外泊をする
- ・ 髪型や服装が派手になった等

自転車も交通ルールを守ろう

自転車運転時のヘルメット着用が義務になり、徐々にヘルメットを被っている方が増えてきている反面、交通ルールを守らないで走る大人や学生も多く見られます。

特に、目につくのは

スマホを見たり操作しながらの運転と信号無視です。

自転車であってもこれらの行為は違反です。

4月以降、児童、生徒の交通事故も発生しています。

大人の行動は子どもが真似します。

未来ある大切な子供を守るためにも、大人が率先してヘルメットを被るなど模範を示し、交通事故防止に努めましょう。



補導日誌

5月2日 17時30分

橋本児童公園では親子でキャッチボールをしていたが、近くの他の公園は連休の前のためなのか、ほとんど子どもの姿を見なかった。さくら野百貨店では買い物をしている女子高生が数人いたほか、ホッコにも勉強をしている高校生が何人かいた。

帰宅する際は、車に気をつけるよう声をかけたが、皆笑顔で返事を返してくれた。

5月5日 15時45分

帰帆場公園で男の子を見かけて声をかけてみました。

私たちの言葉に「キハキと答えてくれ、別れ際には 気をつけて帰ってください」と大人顔負けのあいさつをもらいました。

また、ホッコでは多くの高校生が共用スペースを利用して勉強したり、談笑したりしており、女生徒に声をかけると、「こはゆったりして、とても良い場所です」と答えてくれ、ここでもまた 気をつけてお帰り下さい」とねぎらいの言葉をかけていただき、心が温まる思いでした。

5月9日 17時

午後5時以降、北上駅に向かう多くの高校生とすれ違った。声をかけると、全員から清々しい返事がかえってきた。

ホッコに立ち寄ったところ、女子高校生が一人、集中して勉強していた。